

BITS 2013

Vision in

ACTION

“つなぐ力”でビジネスを変える。

スマートモバイルBYODの実践に向けて

～いつまでもBYODで悩んでいるアナタへの現実解

日本ユニシス株式会社
総合マーケティング部 ビジネスプロデュース室
丸尾 和弘

UNISYS

1 スマートモバイルの利用スタイル

2 日本ユニシスでのBYODの実践

3 モバイルアクセスゲートウェイmobiGateのご紹介

4 mobiGateによるBYODへの対応

1 スマートモバイルの利用スタイル

2 日本ユニシスでのBYODの実践

3 モバイルアクセスゲートウェイmobiGateのご紹介

4 mobiGateによるBYODへの対応



どう使い分けるべき？

どんな用途で使うのか
どんなシーンで使うのか



- ・立ち姿勢だとコンテンツ閲覧
タッチ選択程度
- ・PC代わりなら卓上でキーボード

実は「画面の大きなスマホ」ではない

スマートフォンの利用シーン

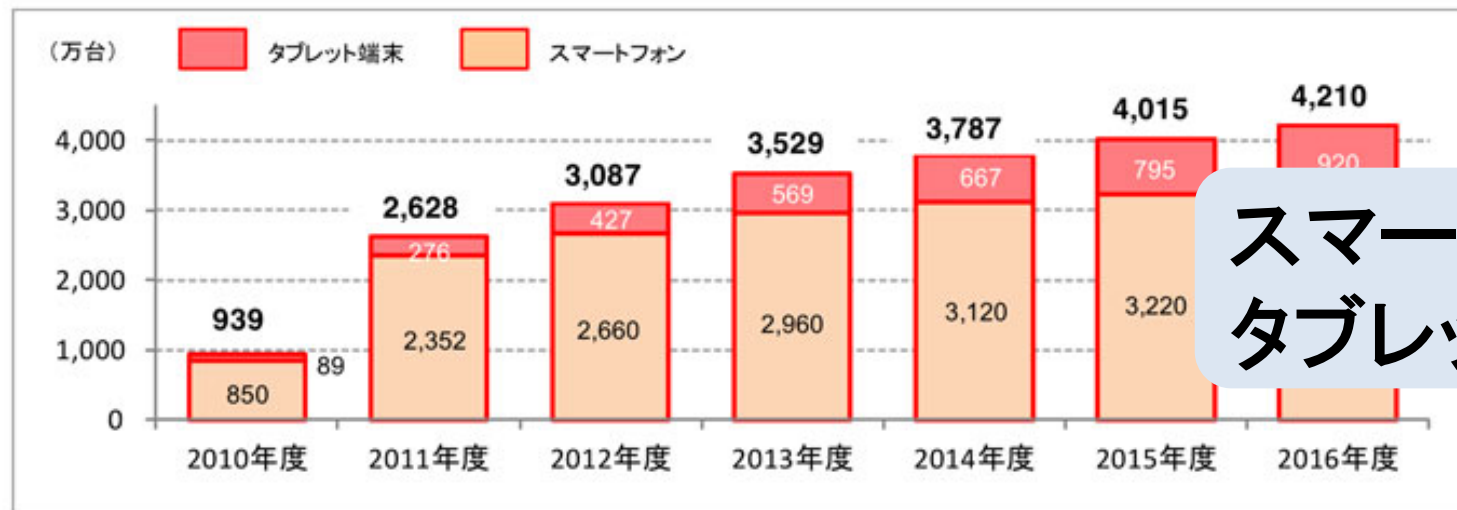


- ちょっとした合間時間に
- 懐からさっと取り出し
- タップ&スワイプで軽快に操作

スマートデバイスの出荷台数予測

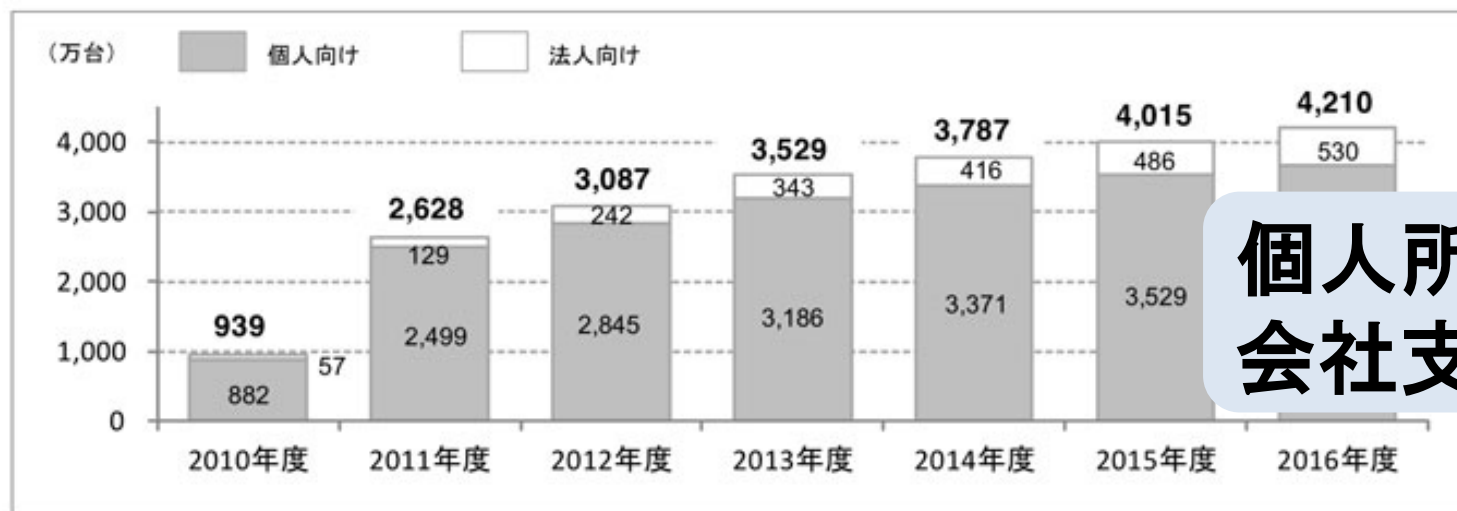
スマートデバイスの出荷台数、2015年度に4000万台突破——ICT総研調べ

表3. スマートデバイス出荷台数予測（スマートフォン・タブレット端末内訳）



スマートフォン : 8
タブレット : 2

表4. スマートデバイスの出荷台数予測（個人向け・法人向け内訳）



個人所有 : 8.5
会社支給 : 1.5

* 年度: 4月～翌3月。2012年度以降は予測値。

* スマートデバイスには、スマートフォン、タブレット端末が含まれる。

出典: <http://www.itmedia.co.jp/promobile/articles/1206/25/news100.html>

Company Provided Device

会社支給端末

◎会社としての業務命令

「業務遂行のためにこの端末を使って

仕事しなさい」

特性・前提

- ・機種指定できる
- ・ポリシーの強制適用
 - －アプリインストール
 - －カメラ利用
 - －不要なアプリの利用禁止
- ・端末の所在・割り当て管理



適性

- ・特定用途でのスマートモバイル活用
- ・業務専用端末としての利用
 - －バーコードリーダー、モバイルプリンタ
 - －従来のハンディ端末などの代替機

懸念

- ・端末費用、回線費用
- ・会社としての端末運用管理責任
 - －故障・問い合わせ対応
 - －セッティング作業
 - －セキュリティ対策運用

Bring Your Own Device 私物端末

◎快適な業務環境の整備

「環境は用意するので、使える人はどうぞ」

メリット

(従業員)

- ・使い慣れた端末、最新の端末を使える
- ・端末の2台持ちをしなくて済む

(会社側)

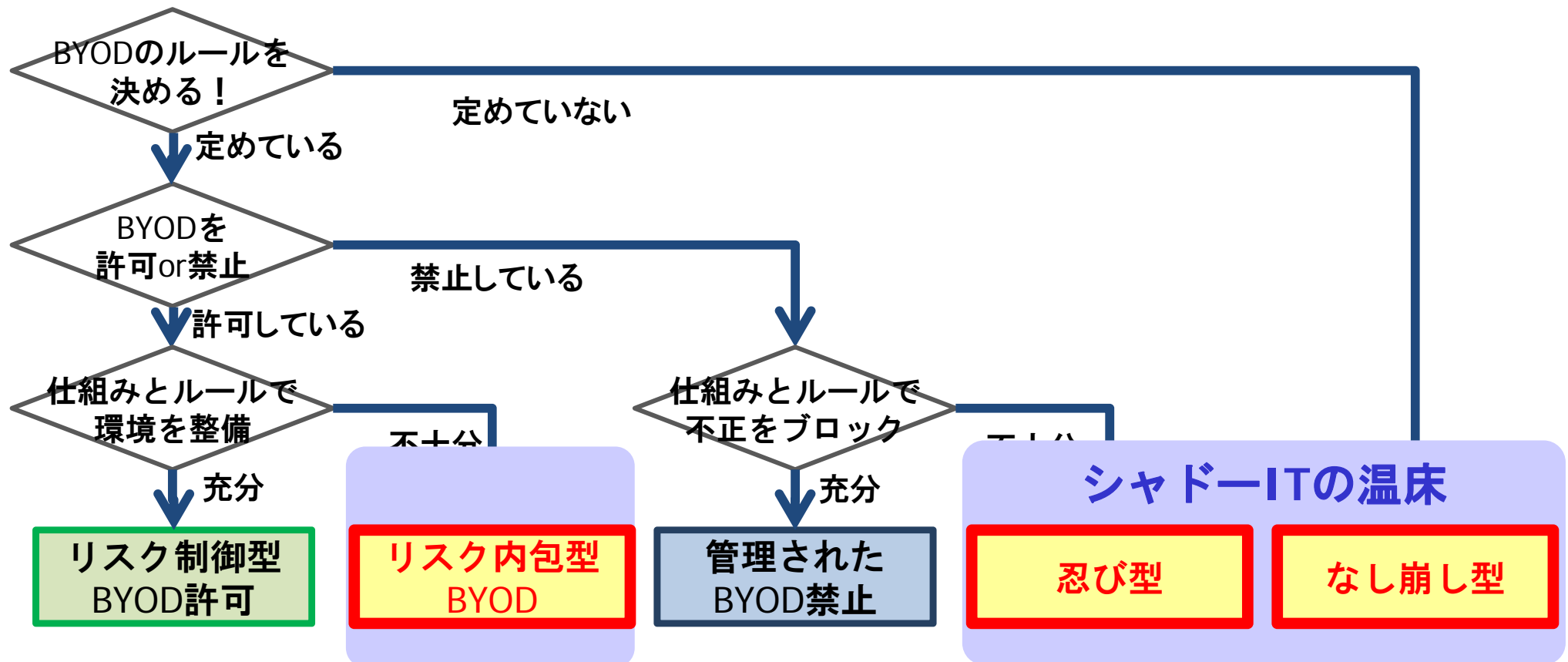
- ・端末費用、回線費用の企業負担軽減
- ・端末の配布、故障対応などの管理運用負荷軽減

懸念

- ・機能制限・利用制限などOSまるごとのセキュリティ対策を強制できない
- ・機種が特定できないため、多機種に対応したシステムが前提
- ・アプリ配布や社内接続設定などの運用面を簡素化する必要あり

シャドーITとは

1. BYOD利用規定や仕組みが整備されていない状態で、なし崩し的にスマートデバイスを使用するケース
2. 企業が業務において、私物端末の使用を許可しない状況で、従業員が個人向けクラウドサービスを使用するケース



会社端末か私物端末か判別できない・・・

執務エリアへの私物端末の持ち込み
デスクでのデバイス充電
PCへのUSB接続

白板／ノートをスキャン
名刺をスキャン

業務中に不要な用途(SNS、動画サイト、ゲーム)
業務中に有用な用途(乗換案内、地図ナビ、航空券予約)

技術的に抑制できない
だからこそ、今すぐルールを

1 スマートモバイルの利用スタイル

2 日本ユニシスでのBYODの実践

3 モバイルアクセスゲートウェイmobiGateのご紹介

4 mobiGateによるBYODへの対応

日本ユニシスグループでのモバイルワークの推移

時期	取り組み	ルール
2004年度	モバイルワーク環境の整備 ノートPC+VPN	時間外労働に関する労務規定
2007年度	携帯電話からのメール・社内電話帳利用	社用携帯電話の利用および携帯からのメール利用に関する利用規定
2008年11月	SASTIKによるBCP／在宅勤務環境	在宅勤務に関する勤務体系規定 自宅での労務環境整備に関する規定
2009年7月	社用携帯電話の支給、内線・外線・携帯の一本化（FMC）	社用携帯電話の利用規約の周知徹底
2012年6月	仮想デスクトップによる在宅勤務	在宅勤務規定（既存規定の範疇で）
2013年1月	スマートデバイスによるBYOD（試行）	私物端末利用に関する試行ルールを暫定定義

<試行利用内容>

- ・mobiGateクラウドサービスを利用
- ・利用端末は私物端末／会社支給端末を問わず（1ユーザあたり2端末まで利用可）
- ・期間：2013年1月～継続中

<利用システム>

- ・Exchangeサーバ(メール／予定表／アドレス帳)
- ・社内電話帳検索(Web)
- ・内線不在転送・在席確認(Web)

<試行利用者>

- ・役員、管理職以上
 - ・営業職、お客様担当SE
 - ・提案支援担当者(商品主管)
- 合計：約230名 にmobiGate アカウントを配布

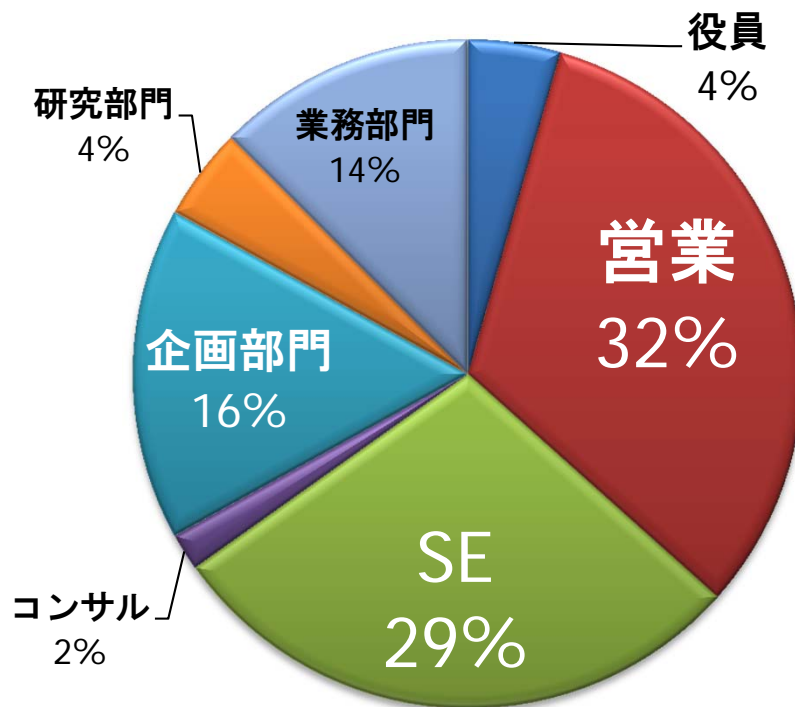
＜アンケート方法＞

アンケート対象:mobiGate試行利用者 230名

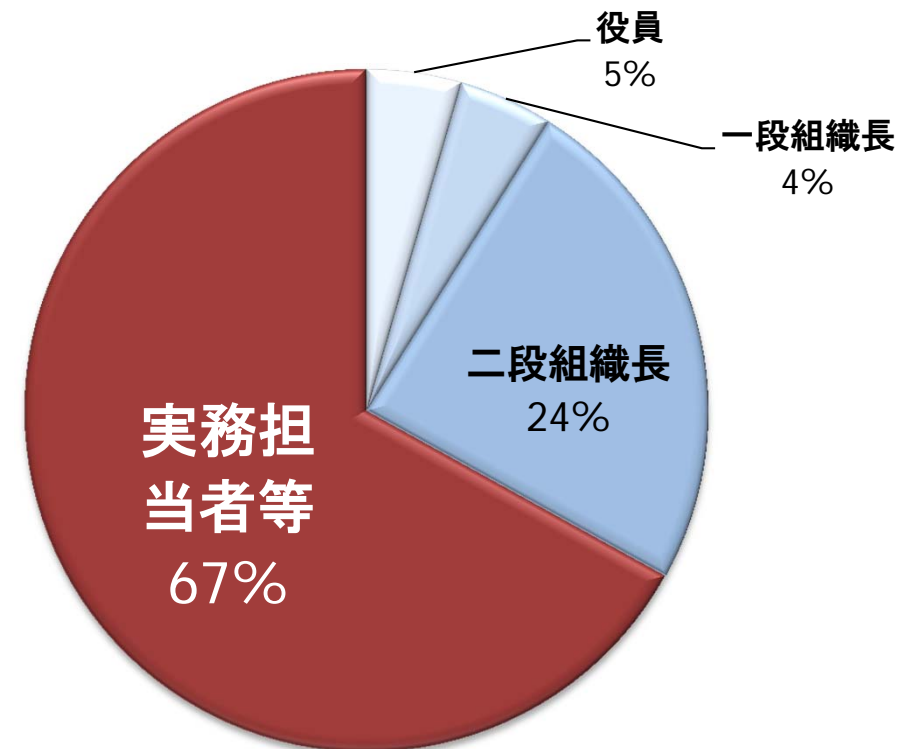
アンケート実施時期:2013年3月中旬 (mobiGate試用から3ヶ月目)

有効回答数:112名

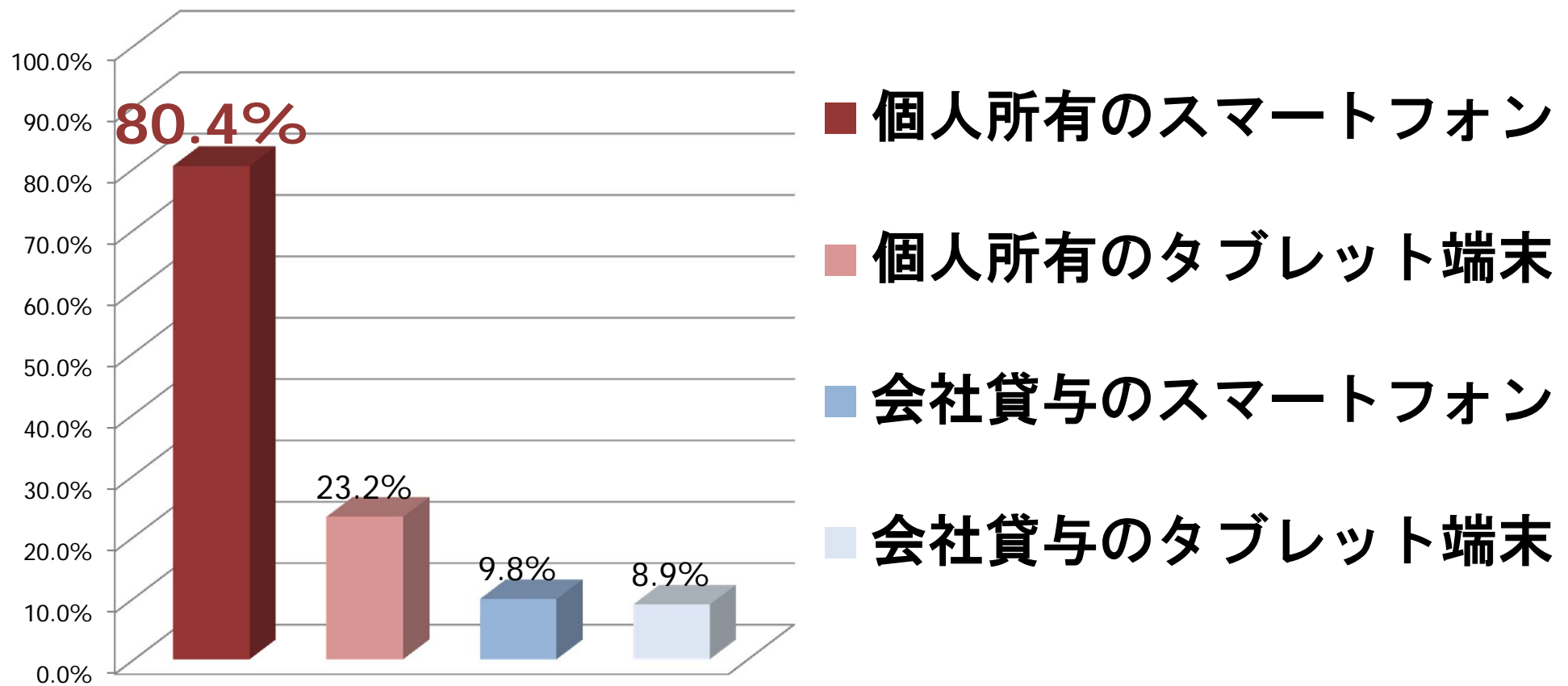
試行利用者属性：職種別



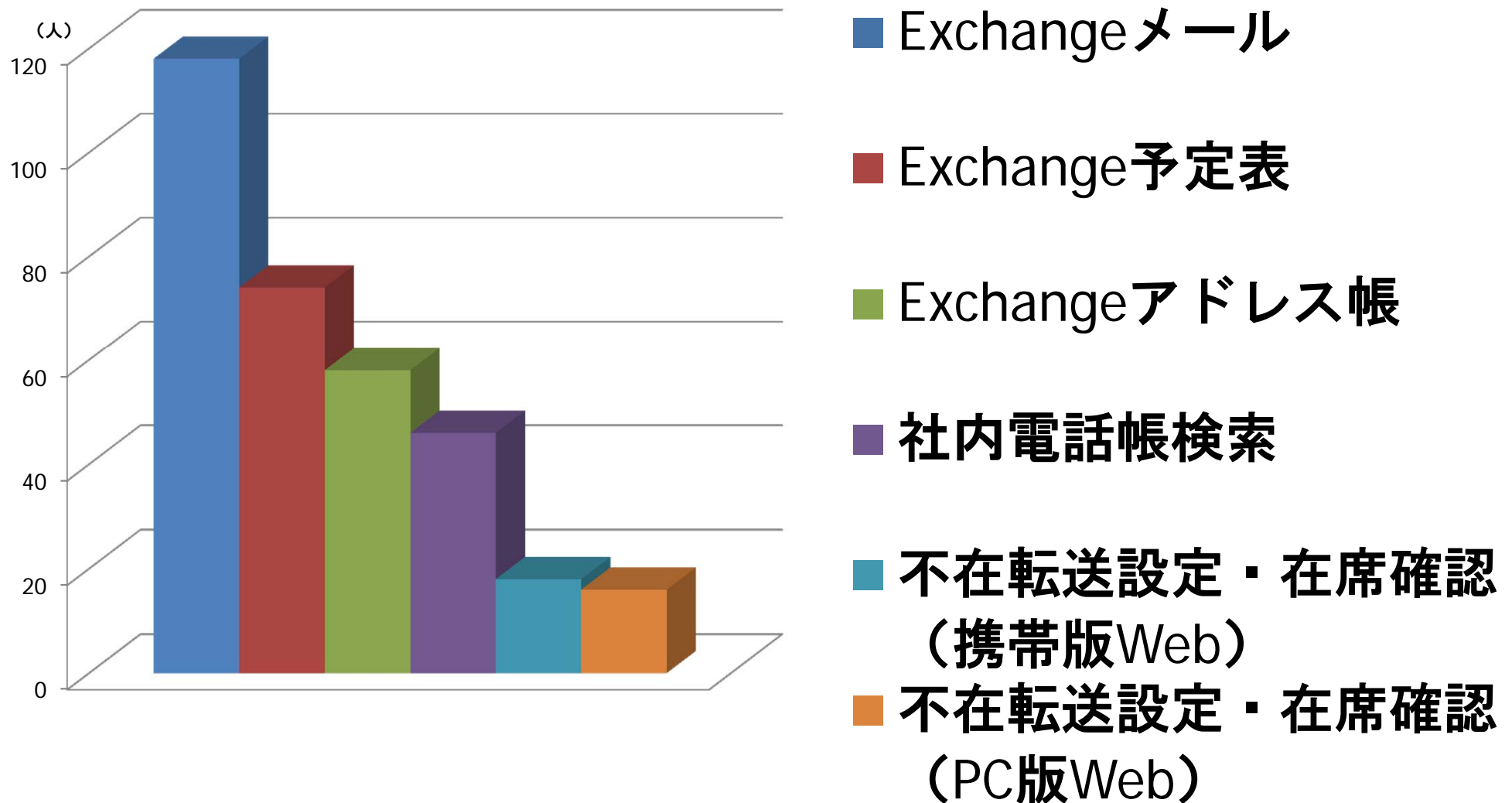
試行利用者属性：役職別



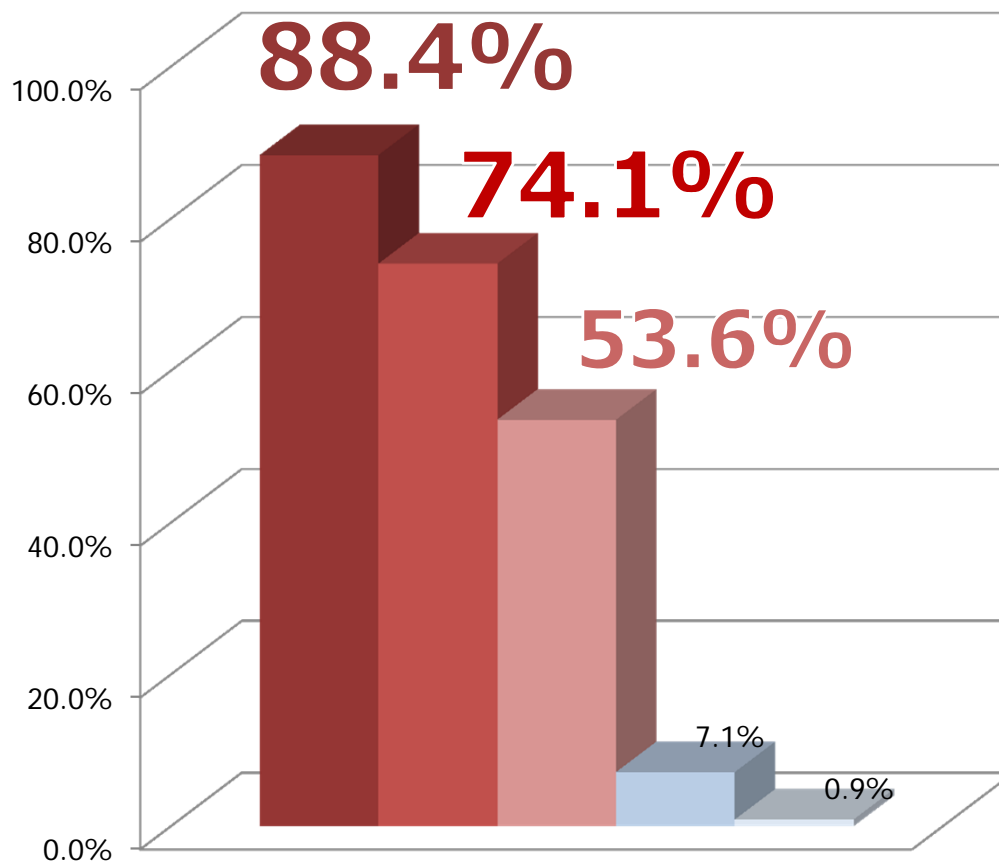
利用デバイスの種別（対利用者比率）



利用順位の高いシステム（順位選択）

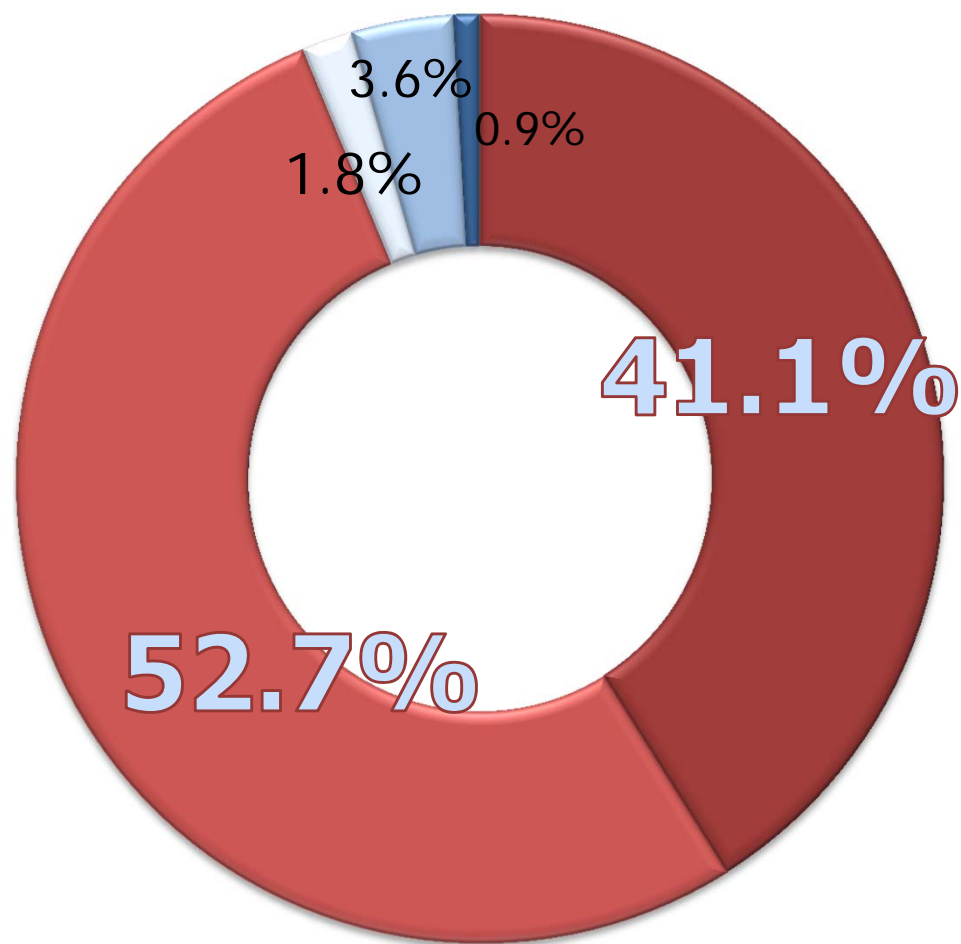


利用シーン (複数選択)



- 出社前／帰宅後／休日などでの自宅
- 出社中／移動中の電車内
- 営業活動・支援・打合せなどの社用外出先
- お客様へのプレゼン／デモ・支援業務
- まだ利用できて(して)いない

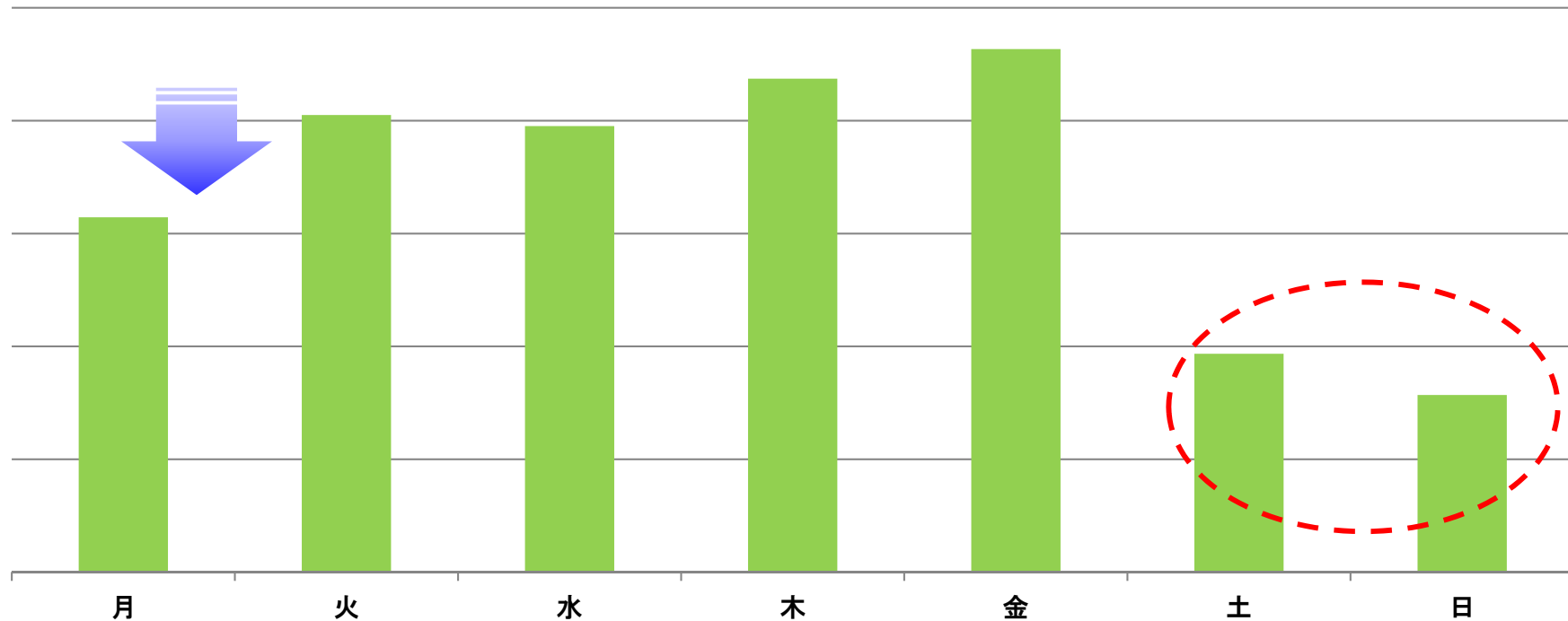
利用頻度（択一選択）



- 毎日、数回利用している
- 週に数回程度利用している
- 月に数回程度しか使わない
- 緊急時・出張時などしか使わない

利用状況分析(その1) 曜日別利用頻度

曜日別 ログイン回数 (2013年1月~4月)



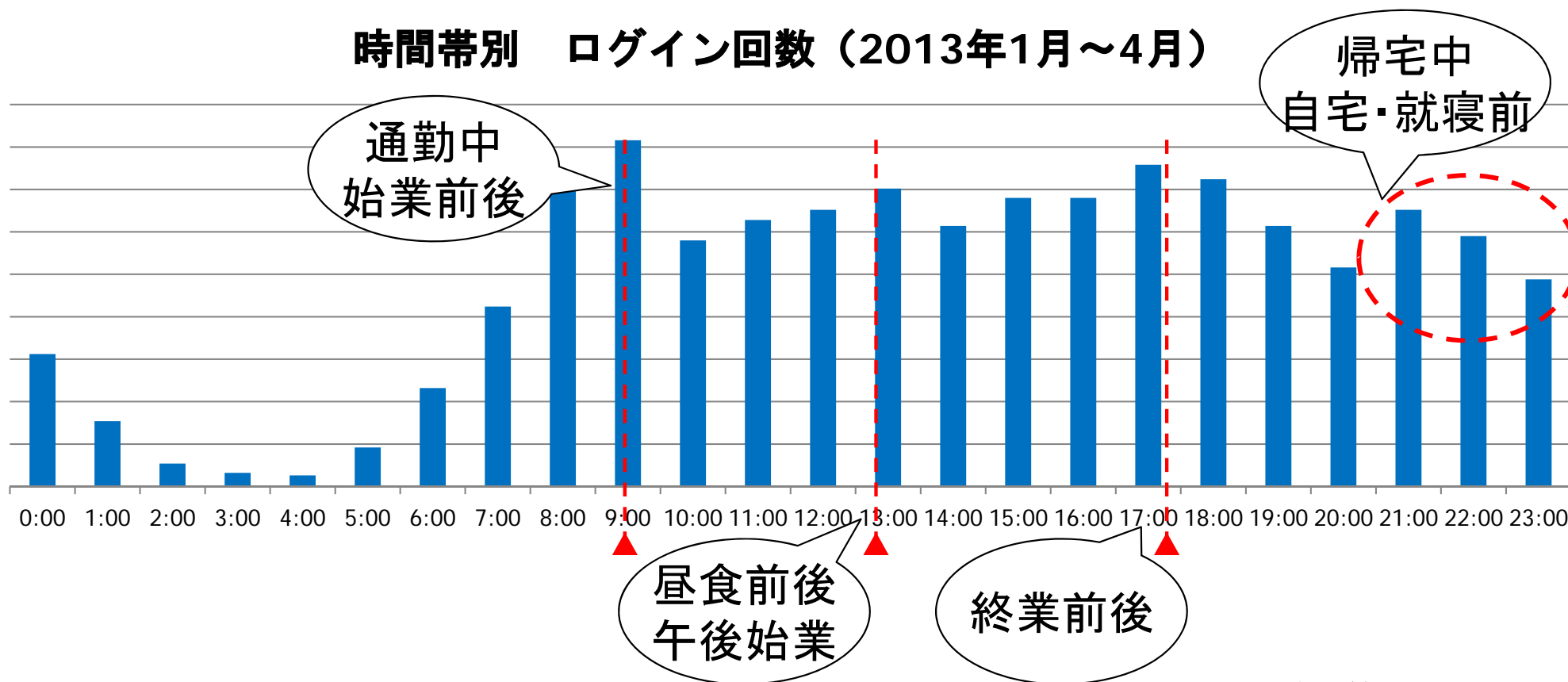
- 月曜日は若干利用数が少ない
- 土日も平日の1/3程度の利用がある

利用状況分析(その2) 時間帯別利用頻度

BITS 2013

NIHON UNISYS GROUP
BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

時間帯別 ログイン回数 (2013年1月~4月)



- ・スキマ時間の有効活用 → 自分の手帳を見る感覚
- ・土日や業務時間外でも結構利用される

このような時間帯の利用も、基本的には**自発的な利用**

今後使いたい用途

1位 営業日報・グループスケジューラー **Webシステム**

2位 勤怠管理・照査 **Webシステム**

3位 社内ファイルサーバ **Fileサーバ**

4位 経費精算・照査 **Webシステム**

その他 決裁、e-learning など **Webシステム**

期間中に管理者で対応が発生した問合せ

1. パスワード間違いによる
アカウントロックの解除依頼・・・66件
2. パスワード失念による
パスワード初期化依頼・・・22件
3. 接続先システムのパスワード変更に伴う
アクセスエラー・・・・・・8件
4. ユーザからの初期パスワード設定に関する問合せ・・・・・・5件
5. ユーザIDに紐付いた端末IDの解除依頼・・・・・・1件
6. 端末紛失などによるアカウント停止・・・・・・0件
7. mobiGateアプリの操作方法に関する問合せ・・・・・・0件
8. 端末としての操作・設定方法に関する問合せ・・・・・・0件

■ 利用シーンについて

- 主な利用シーンは“スキマ時間の有効活用”
- 社用外出／出張時など、メールだけならPCが不要になる
- 実は“業務時間外でも使いたい”というニーズは強い

■ 利用用途について

- 主な用途はメール／予定表
- タブレットよりもスマートフォン
- その他でモバイルワーカーが使いたい用途はWebシステム化されているシステムであることが多い

■ 管理・運用負荷について

- 操作方法や設定方法に関する問合せはほぼない
- ユーザからの問合せはパスワード間違い/失念によるアカウントロック解除依頼

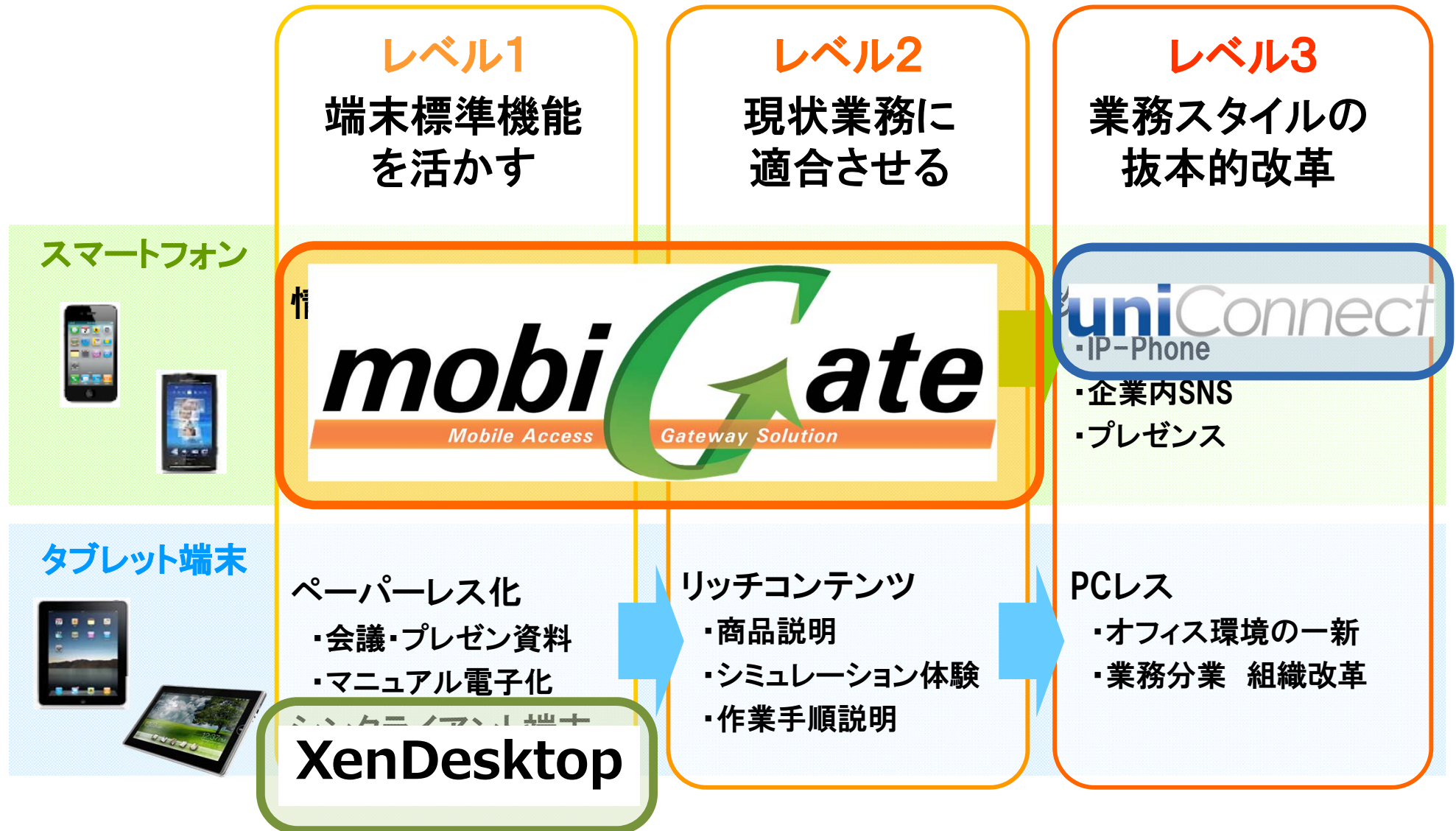
1 スマートモバイルの利用スタイル

2 日本ユニシスでのBYODの実践

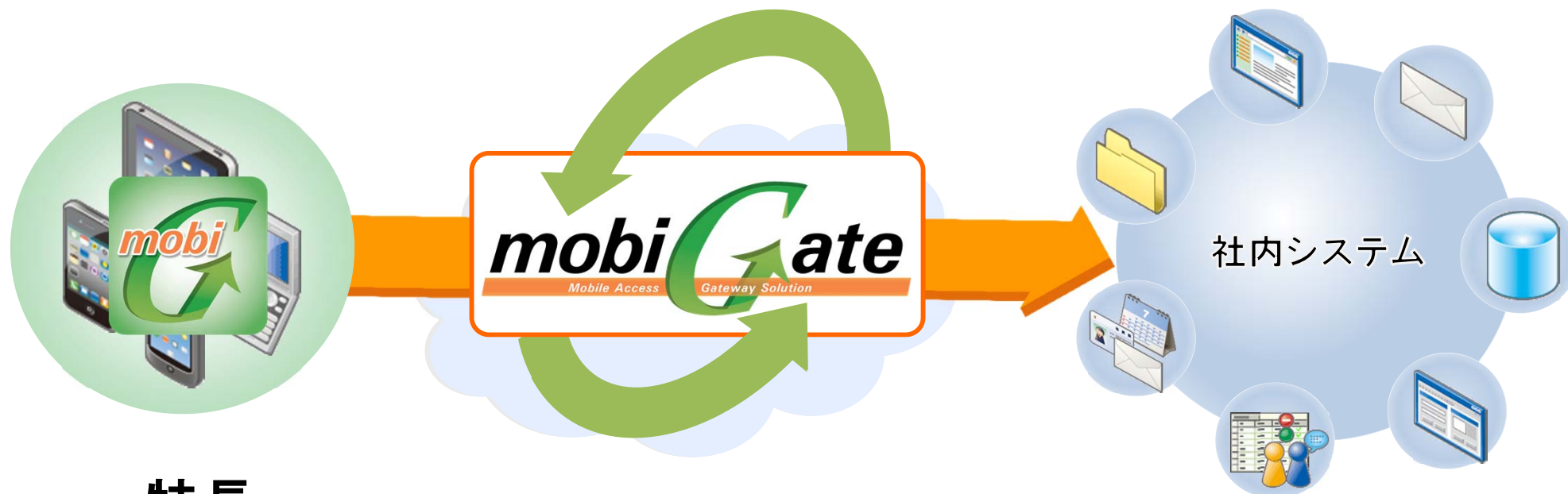
3 モバイルアクセスゲートウェイ mobiGateのご紹介

4 mobiGateによるBYODへの対応

スマートモバイルのビジネス現場での活用段階



スマートフォン／タブレットからセキュアに社内システムにアクセス
自社固有の業務システムのスマートフォン／タブレット化にも対応

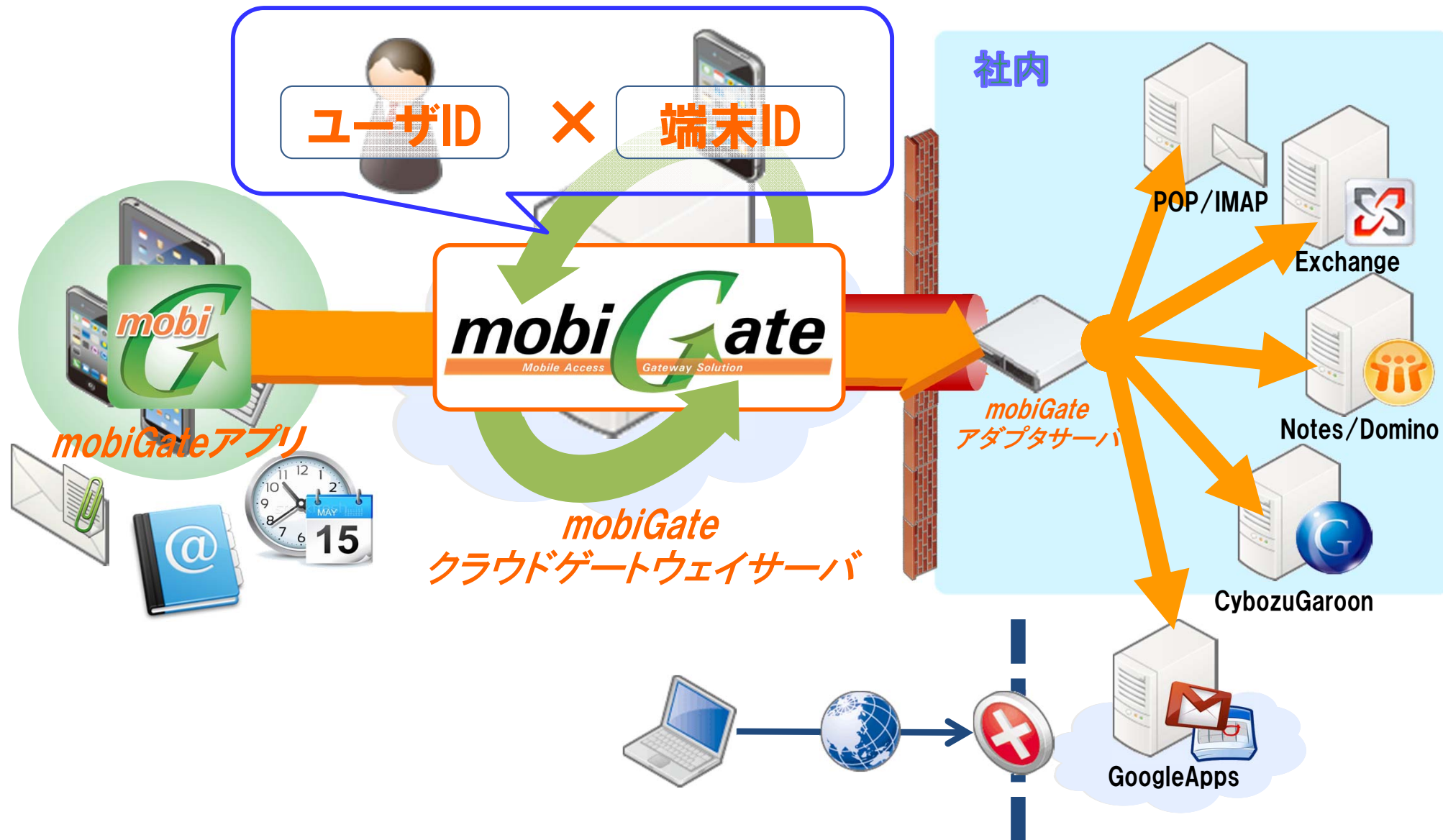


特長

- スマートフォン用のアプリの操作性で利用
- 社内システムへの接続はmobiGateに集約・一本化
- 端末にデータや履歴を残さない高いセキュリティ

グループウェアへの接続 *mobiGate-GrW*

まずはメール・スケジュール・アドレス帳での活用から。
様々なグループウェアシステムやメールサーバへの接続に対応しています。



4つのアクセス手段を用意することで、
スマートフォンの業務活用シーンをカバーし、
スマートフォンの活用用途の拡張・展開をサポート

メール・グループウェア
アクセス



ファイルサーバ
アクセス



社内Web・クラウド
セキュアブラウザ
アクセス



API連携・DBアクセス
アダプタ開発



1 スマートモバイルの利用スタイル

2 日本ユニシスでのBYODの実践

3 モバイルアクセスゲートウェイmobiGateのご紹介

4 mobiGateによるBYODへの対応

ポイント1:

セキュリティ対策が万全であること

ポイント2:

個人の私的利用に制限をかけないこと

ポイント3:

端末運用が簡便・シンプルであること

◎守りたいのは端末ではなく “情報”
“情報”を守るためには...

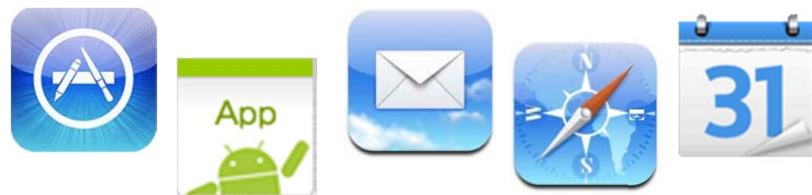
MDM モバイル
デバイス管理



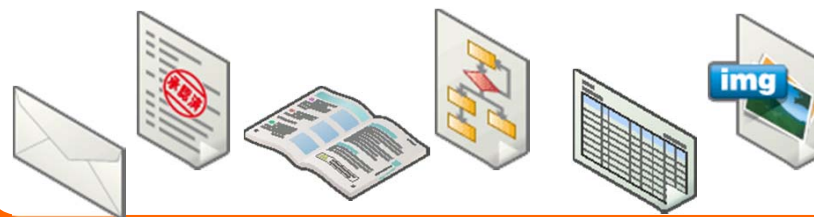
MNM モバイル
ネットワーク管理



MAM モバイル
アプリケーション
管理



MCM モバイル
コンテンツ管理



モバイル端末ポリシーによる管理(MDM)



Jailbreak／root化検知

遠隔監視

スクリーンショット検知



指定アプリ検知

パスワードポリシー



ポリシー違反のユーザは
ゲートウェイでアクセス拒否

リモート
ロック



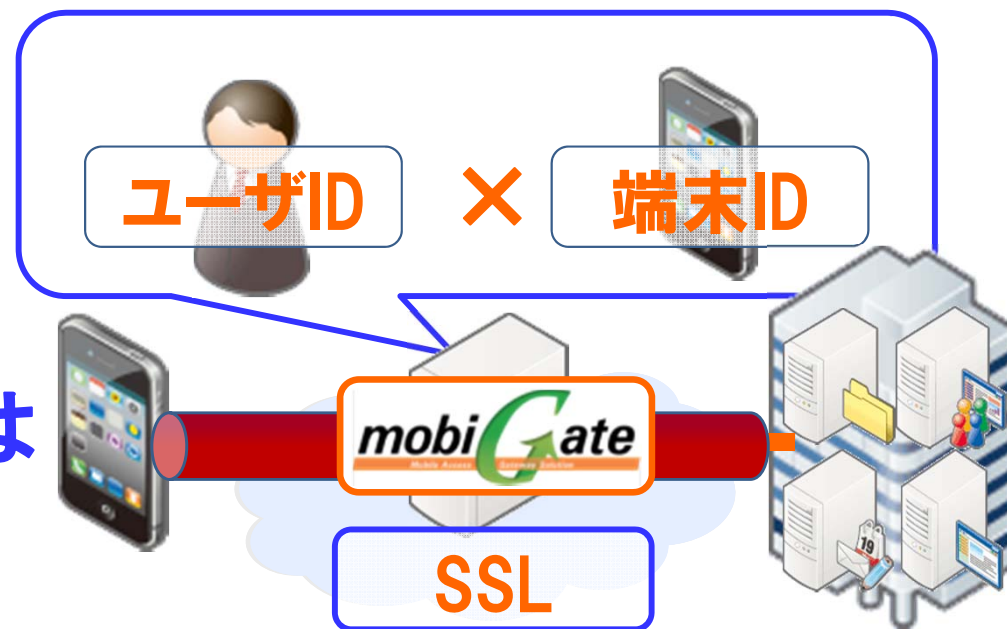
社内ネットワークへのアクセス管理(MNM)



インターネットVPN禁止



スマートモバイルからの
社内へのアクセスルートは
mobiGateに一本化

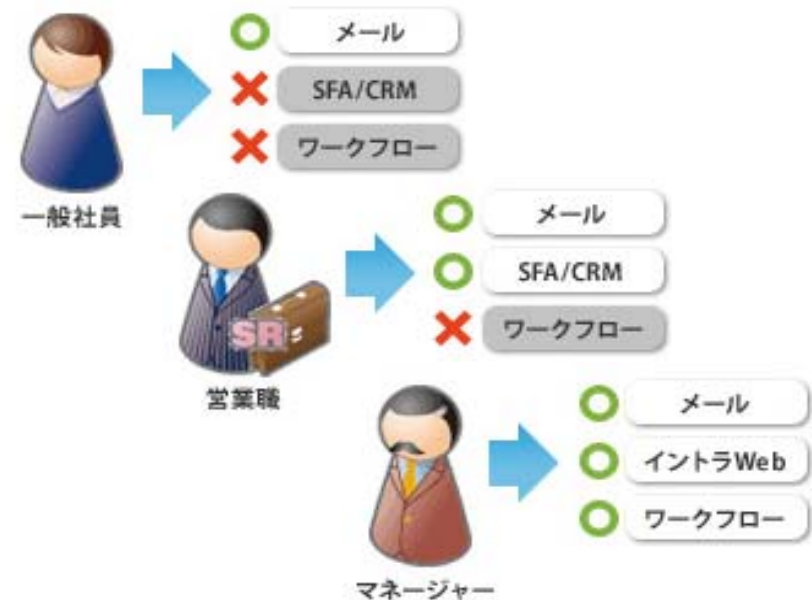


業務システム(アプリケーション)の管理(MAM)



利用できるシステムは
mobiGateに登録されたものだけ

ユーザ毎にアクセスできる
システム・サイトを制御

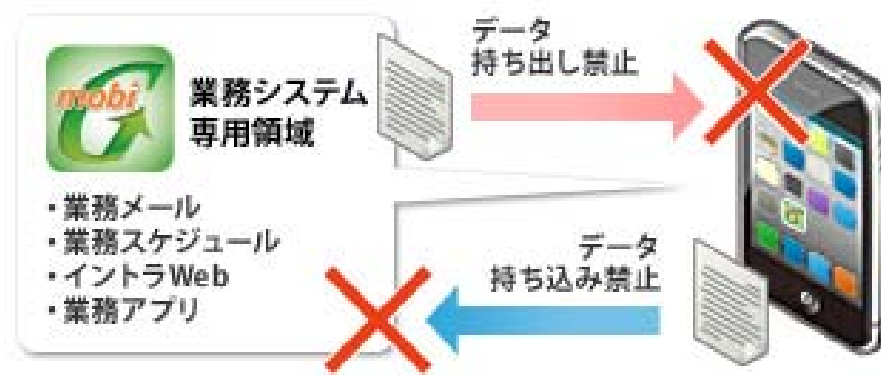




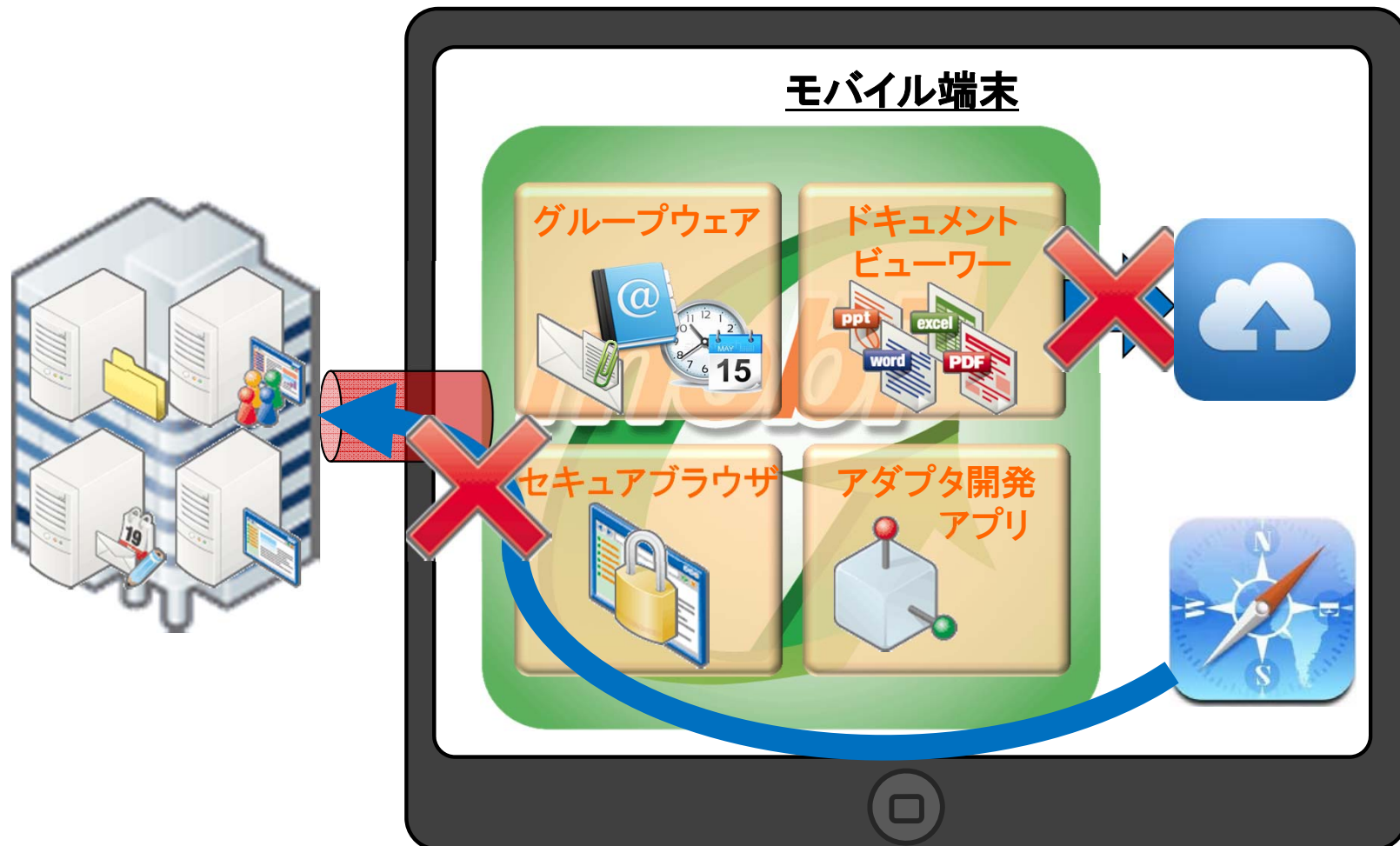
端末内にデータを
保存させない！

リモートワイプ
不要

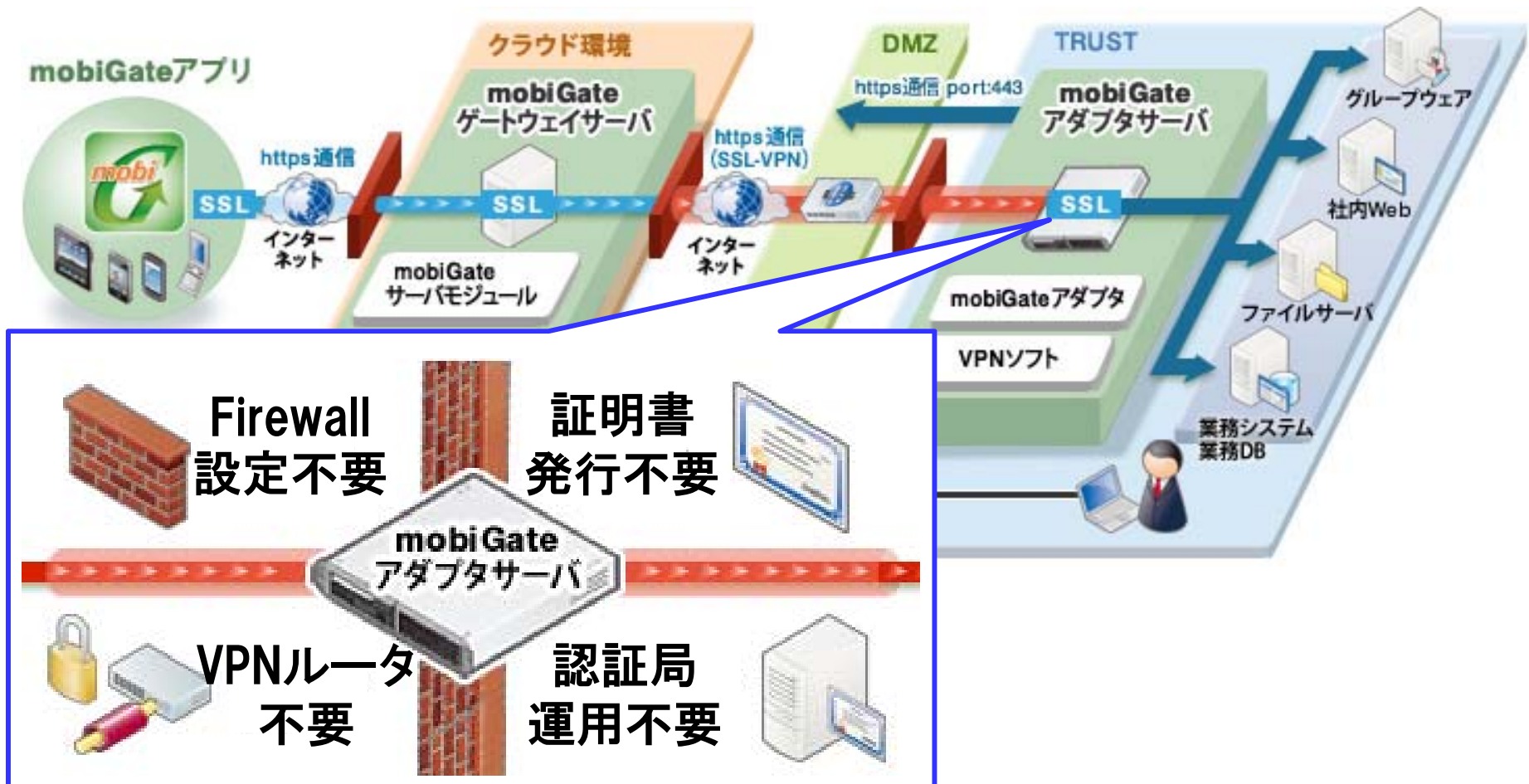
端末内のファイルを
社内に持ち込ませない！



データは全てmobiGateアプリの管理下
業務上の機密情報などを外部アプリに渡しません



mobiGateアダプタサーバを設置するだけの簡単導入 既存のネットワーク・インフラの設計変更は最小限に



私物端末が故の前提

- ・どんな機種を使っているか分からない
- ・機種変更がランダムに、頻繁に発生する



ユーザ側はmobiGateアプリを入れるだけ

- ・証明書の配布・削除・再発行など不要
- ・VPN等ネットワーク接続設定不要
- ・様々なアプリケーションのインストール不要

管理者側の端末管理運用を簡便に

- ・端末の事前登録不要
- ・リモートワイプ作業不要
- ・端末ポリシー監視・不正操作の監視不要

- トリガーはユーザからのニーズに対する応え
- セキュリティは、端末ではなく“情報”を守る
- 運用・管理は簡便に
- 既存のルール・規約の変更は最小限に

もはや、ルールと対策を決めずに放置できる状態ではない。
ニーズはある。手段もある。先例もある。
あとはルールを決めて走り出す勇気を。

じゃあ、BYODいつやるの?!

今でしょ!

BYOD対応ソリューション

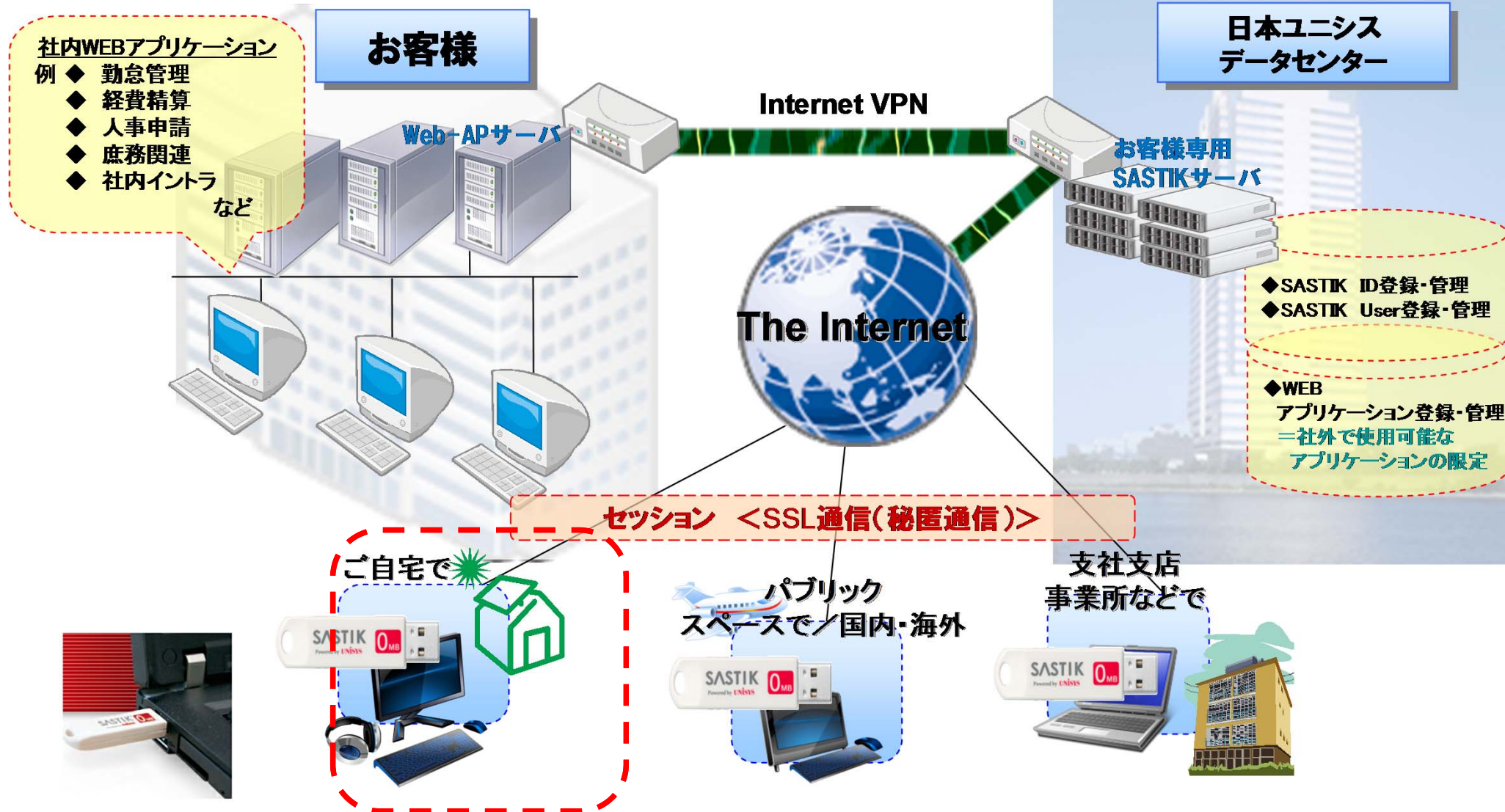
BYOD実現環境は、利用シーンや利用するデバイスによって適正が違います。
日本ユニシスでは、様々なご要望にお応えするソリューションの提供が可能です。



【ご参考】SASTIKサービス



いつでもどこでも、社内システムへアクセスする環境の構築



SASTIKを挿入し自動起動 ⇒ 認証 ⇒ 登録されたWEBアプリケーションを利用 ⇒ SASTIKを抜く ⇒ 痕跡証跡自動消去

【ご参考】ユニファイドコミュニケーション uniConnect

日本ユニシスグループのS&Iでは、2009年10月より iPhoneを会社支給。
2011年10月からは、個人所有スマートフォンの業務利用(BYOD)も積極促進。



@社外



@office



